

## 2 大区画ほ場整備を契機とした地域振興

わのうち  
【岐阜県 輪之内町】

- 事業を契機に6つの営農組合に9割以上の農地を集積し、麦・大豆の作付拡大による農地の高度利用化を推進(土地利用률140%以上)
- 大根、加工用トマトなどの高収益作物の栽培を開始するとともに、町と民間企業が開発したスイーツに米・大豆を提供
- 地区内を流れる川沿いに150本のサクランボを植栽し、地域住民のふれあいの場となる「サクランボまつり」を開催

### 取組前

#### 小区画・狭い農道・用排兼用水路

- 標準区 概ね0.1ha
- 耕作道の幅員 1.8m程度
- 用排水路 兼用の土水路

#### 低い農地集積率

- 農地集積率 5%程度
- 営農組合 なし

#### 稲作を中心とした営農

- 土地利用률 109%



狭小な耕作道



用排兼用の土水路

### 取組内容

#### 農地の区画拡大と汎用化

##### 【経営体育成基盤整備事業 輪之内南部地区】(H7~H21)

- 区画拡大 8割以上が0.5ha/筆以上
- 汎用化 用排水路の分離と暗渠排水の整備により、約9割の農地を汎用化
- 受益面積 188.7ha



区画拡大と麦大豆の作付

#### 地元組織の設立

- 事業を契機に6つの営農組合を設立
- 農業用施設の維持管理に取り組む資源保存会(非農家含む)を地域ごとに5つ設立

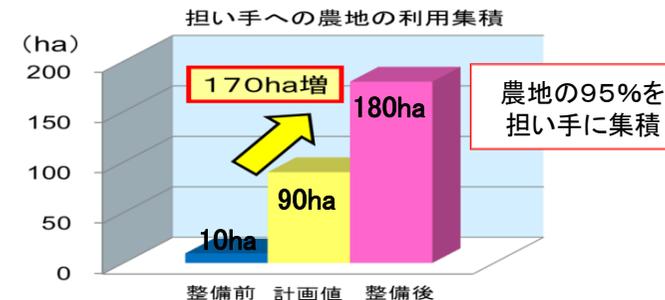


施設の草刈り作業

### 取組後

#### 担い手への農地の利用集積

- 農地の区画拡大に伴い大型機械の導入が可能となり、作業時間が縮減されたことより、担い手への農地集積が拡大(図参照)
- 用排水路の分離と暗渠排水の整備により農地の汎用化が図られ、大型機械の導入に伴い米・麦・大豆の2年3作の営農体系が確立(土地利用률은109%から142%に向上)



#### 6次産業化に向けた取組み等

- 刺身用のつまに使用される大根や加工用トマトなど、高収益作物の栽培も始まり、高齢者に雇用の場を提供するとともに、加工用トマトで6次産業化を目指す
- 輪之内町が開発した輪之内スイーツ「お米アイス」を民間のジェラート店が製造し、「豆乳リゾットジェラート」として販売しており、その材料には本地区の大豆「フクユタカ」を使用
- 地区内を流れる西江川沿いに150本のサクランボを植栽し輪之内南部土地改良組合が中心となり「サクランボまつり」を開催



サクランボまつり



◆換地計画の調整について

○岐阜県土地改良事業団体連合会指導のもと4つの換地工区の換地委員会が、集落間、権利者の意向調整を図った。



営農組合による田植え作業

**きっかけ**

地元の代表者が担い手への農地集積を図るため、県にほ場整備事業を要望

**Step1 (H5~)**

**関係者間の調整・計画策定**

- 標準区画や用水路のパイプライン化など、整備水準を決定
- 整備後の担い手や集積の対象とする農地を選定

**Step2 (H7~)**

**ほ場整備の実施**

- 大型機械を導入するための区画拡大や麦・大豆の品質向上を目指して暗渠排水の整備を実施
- 複数の集落に跨るため、換地計画の調整・同意が難航

**Step3 (H9~)**

**営農組合の設立**

- 事業の進捗に併せて、地域の担い手となる営農組合を6組織設立
- 区画整理が完了した農地から担い手に集積

◆将来の担い手について

○事業後に営農活動が将来にわたって続けられるよう、集落単位で担い手となる営農組合（6組織）を設立することとした。



米、大豆を使用したジェラート



高収益作物 大根栽培



2年3作の営農体系を確立(大豆)

**Step4 (H10~)**

**2年3作の営農体系を確立**

○米・麦・大豆の2年3作の営農体系が確立され、農地の高度利用化を展開

<土地利用率>

事業前：109%

事業後：142%

(32ポイント増)

**将来に向けて**

- 6つの営農組織の内、3組織が法人化し残りの組織も法人化の予定。今後も地域農業を支えていく。
- 刺身用のつまに使用される大根や加工用トマトなどの高収益作物や企業と連携した大豆の生産を一層推進することで、高齢者に雇用の場を提供するとともに、6次産業化を目指す。
- 資源保存会による維持管理活動を継続し、将来にわたって優良農地を確保する。

今後の展望

**Step6 (H20~)**

**地域活性化に向けた取り組み**

- 地区内の川沿いに150本のサクランボを植栽し、土地改良組合が中心となり「サクランボまつり」を開催
- 事業を契機に設立した資源保存会（非農家含む）が中心になり、農業用施設の維持管理に取り組む

**Step5 (H20~)**

**高収益作物への挑戦**

- 刺身用のつまに使用される大根や加工用トマトなど、高収益作物の栽培に着手
- 町が開発し、民間が製造・販売するジェラートの材料に、本地区の大豆「フクユタカ」を使用